

「まちづくり食堂」

四年ぶりに開催

住みよい暮らし委員会

地域・世代間の交流を深めることを目的に年間二回実施してきた「まちづくり食堂」ですが、新型コロナウイルスまん延のため、令和元年十二月十五日以来開催できませんでした。

新型コロナウイルスが2類から5類へ移行になったのを機に、今年度は十一月十八日(土)に4年ぶりに開催したところ、一三七名の方に参加していただきました。

今回は定番のカレーライスの他に、喫茶コーナーではジュース類に加えてドリッブコーヒーを用意し、遊びのコーナーでは囲碁・将棋の他にオセロ大会を行いました。また、ミニ演奏会では皇學館大学邦楽部の皆さんに琴・三味線・尺八の演奏を聞かせていただきました。カレーライスや淹れたての香り高いコーヒーを堪能していただき、伝統的な楽器の演奏やオセロのトーナメント戦を展開するなど交流を深めていただきました。

4年ぶりの開催でいろいろと行き届かなかったこともあったかと思いますが、地域の方々が楽しそうに談笑される姿に交流を深めることの大切さを実感しました。(世古行生)



【民生委員・児童委員の皆さんにもボランティアとしてお手伝いいただきました。】



【6年生の子ども達には卒業前の素敵な思い出となったふれあい餅つき大会でした。】

四郷小学校でも、四年ぶりに

「ふれあい餅つき大会」を開催

二月九日(金)、四郷小学校では卒業記念の一環として、「ふれあい餅つき大会」が行われ、まち協も後援という形で協力しました。

当日は朝から、保護者や地域の方、地域の諸団体の役員さんなど、多くの人たちとの協力のもと、六年生の子も達を中心となり、餅をついたり、きなこ餅やあんこ餅を作ったりして、日頃お世話になっているボランティアの方と他学年の子ども達に振舞いました。

【お詫びと訂正】3月に各戸配布させていただいた冊子「10年のあゆみ そして四郷の未来へ」の34ページ「五十鈴中学校3年 奥野紗空」とありますが、正しくは「五十鈴中学校1年 奥野紗空」のまちがいでした。お詫びし訂正いたします。



【朝熊山麓公園芝生広場にて】

グラントゴルフ大会

実施日 十一月五日(日)

参加者 九五名

元気はつらつ委員会

大会当日は雲の多い空模様でしたが、次第に晴れ間も見え、十一月としては暖かい日となり、三世代を含むたくさんの方々にご参加いただきました。また、中学生の参加も多数あり老若男女、賑わっていました。今年には四年振りに豚汁とおにぎりの振舞いも出来、参加者の皆さまにも喜んでいただけただけだと思います。今までコロナ禍で中止や自粛が続いていましたが、ようやくコロナ前の行事開催の様子が戻ってきました。身体を動かした後の美味しい豚汁や、楽しいお菓子まきが実施でき、地域の皆さまの笑顔を見ることができ、楽しんでいただける催しが制限なく出来ることを嬉しく思います。(北村真希)



【通学路にて】

クリーンウォーキング大会

実施日 十二月十日(土)

参加者 五七名

元気はつらつ委員会
(四郷スポーツ振興会共催)

十二月十日(土)、四郷スポーツ振興会とまちづくり協議会の共催の取り組みで、クリーンウォーキングが実施されました。お天気も良く汗ばむほどでしたが、家族や友だちと楽しくおしゃべりしながら、約二時間のウォーキングでのほどよい運動と、コース前半のクリーン活動のおかげで、いつもの通学路など四郷の町がきれいになり、新しい年を迎える準備が出来たように思います。(坂口礼子)

ご参加いただいた皆さんの体も心も、とても気持ちのよい取り組みになりました。

絆の森ウォークラリー大会

実施日 二月十七日(日)

参加者 一一七名(ユニバ名)

元気はつらつ委員会

当日は天候が心配でしたが、雨に降られることもなく、暖かくて絶好のウォーキング日和となり、沢山の参加者でスタートしました。散策コースの各所にあるクイズやビンゴを楽しみ、自然の木々の芽吹きを眺めながら、近い春を感じ癒されました。また、コース中の小高い山にある展望台から見える景色は絶景で、登って良かったという達成感を味わいました。

ウォーキングの後には、お楽しみのお菓子まきで盛り上がり、恒例の美味しい豚汁とおにぎりをいただき、心もお腹も満たされました。みんなと一緒に過ごした楽しいひとときは、とても良い思い出になりました。

(藪谷智子)



【展望台にて】



【講師の石井さんには、今年度も今回の文化財講座をはじめ、朝熊山歴史探訪の講師などいろいろとお世話になりました。】

各町にある指定文化財等について、地域の人々に関心を持っていただき、文化財を大切にする気持ちを持っていただきたく、各町単位で始めた文化財講座ですが、今回はその総まとめとして、四郷地区コミュニティセンターにて、四郷地区の皆さんを対象に、講師の石井さんに「四郷地区の文化財」と題し、お話ししていただきました。

文化財講座 「四郷地区の文化財」

実施日 二月二四日(土)

参加者 三二名

講師 石井昭郎氏

生き生き学習委員会

四郷地区の文化財

石井 昭郎

神路・島路の山々に源流を発して流れる五十鈴川は永い神宮の歴史と共に私達、四郷地区の人々の生活を見守ってくれました。その美しい流れに支えられ歴史と共に生まれた、多くの貴重な文化財が戦乱や伊勢湾台風などの自然災害を乗り越え、大切に保存されています。

現在、伊勢市には指定文化財が二二〇数件ほどあり、そのうち、四郷地区には国宝を所有する別格の金剛證寺を中心に二三件、つまり約十分の一を持っていることになり、これは古い歴史の証あかしではないでしょうか。

そこで、文化財保存の重要性を目標に、令和元年(二〇一九)朝熊町を最初に、文化財講座がスタートしましたが、コロナ禍の影響で、一時延期も余儀なくされたものの、本年二月の講座で一巡することになります。

さらに、令和三年一月に発行された「四郷地区の指定文化財」をぜひ有効に活用してほしいと願うものであり、特に常時、実物を自由に見学できるのは、有形文化財指定の大五輪(おおごり)の五輪塔(楠部町)、

菩提山神宮寺曼荼羅石(ぼだいせんじんぐうじまんだらいし)(中村町)、六地藏石幢(ろくじぞうせきどう)(鹿海町)、また、毎年お盆の行事として催される無形文化財指定の、河崎音頭(鹿海町・朝熊町)などです。個人や各地区で保管されている他の指定文化財の場合は、四郷地区まちづくり協議会主催等の見学会で許可された機会にはぜひ参加して観覧してほしいと思います。

ここで、文化財保存の重要性について、実例を挙げてみましょう。菩提山神宮寺は、中村に所在した由緒あるお寺ですが、明治初年の廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)によって廃寺となり、仏像・仏具は焼却されようとしていました。その時、三河(今の愛知県碧南市あたり)の商人がこの噂を聞いて伊勢におもむき、本尊の丈六阿弥陀仏や脇侍(わきじ)などを買い求めていきました。そして、平成十五年、文化庁の調査によって平安時代の制作と認定され、国の重要文化財に指定。これらは現在、碧南市音羽町の海徳寺で本尊として大切に祀りされており、まさに奇跡的と言えます。



大五輪の五輪塔



菩提山神宮寺曼荼羅石

防犯講演会
 実施日 二月二七日(火)
 参加者 二〇名
 生き生き学習委員会

朝熊町委員会で防犯講演会を開催しました。還付金詐欺などの身近で発生している特殊詐欺の手口や、被害にあわないための防止策について、伊勢市防犯アドバイザー、伊勢度会地区生活安全協会、伊勢警察署職員による寸劇やお話を聞き、理解を深めました。

市役所等からATMを使ったお金の払い戻しは絶対ありません。不審な電話があった場合は自分で判断せず、はっきりと「私は必要ありません。」と断って電話を切り、必ず家族や友人などに相談してください。電話機に取り付ける特殊詐欺等被害防止機器の購入費の補助(上限六千円)があります。詳しくは市役所危機管理課まで。

【必ず、家族や友人などに相談を。】



【必ず、家族や友人などに相談を。】

健康増進講座
 楠部町自治会 二月十七日(土)二六名
 中村町自治会 三月十日(日) 二五名
 元気はつらつ委員会

今年度の健康増進講座は楠部町自治会と中村町自治会で開催されました。講師にTAMIKO先生を迎え、軽い体操をしながら脳トレ体操を行いました。おかげで体はポカポカ、頭の中もすごく活性化してみたみたいな気分になりました。各自治会別に開催をしますので、機会があればぜひご参加ください。



【TAMIKO先生を講師に軽い体操や脳トレを。】

まち協代議員研修
 「羽津地区まちづくり推進協議会」を訪れて
 実施日 二月三日(土)
 参加者 一五名

今回の研修視察は羽津地区まちづくり推進協議会を訪れました。羽津地区は四日市東部に位置する人口一万八千人で、六五才未満が八十%と年齢構成が若い地域です。

羽津地区市民センターで、羽津地区まちづくり推進協議会より、活発なまちづくり活動について研修を受けました。組織のことやそれぞれの部会の取り組み、大正時代に建てられた古民家を改装した地区の交流サロン(サロンP)志で我野)の事業についての説明を受けました。交流サロンは、高校生のボランティア活動(子ども食堂)、高齢者のサポート(介護予防教室)等、活発に活動する拠点になっていました。

今回の研修を機に、四郷地区まちづくり協議会の今後の取り組みについてもみんなまで話し合っていきたいものです。

